

## < 菊陽町議会 >

菊陽町は、昭和の合併といわれる昭和30年、旧3村が合併、人口は12,000人でスタート。昭和46年、熊本空港開港。熊本市に隣接するため、都市計画区域に指定され、ソニー・富士フィルムなど、大型企業の企業誘致に成功。平成17年には、90haに及ぶ県営住宅が総合型商業施設と共に行き、人口は現在39,500人となる。議会も定数18名、平成23年には議会活性化特別委員会を設置した。町民に議会人としてどう認めていただくか試行錯誤している。

### 議会活性化の取り組み

改革ではなく、議会をあるべき姿に戻すという議長の意思の下、平成23年議会活性化特別委員会を設置した。

今年3月まで25回の委員会開催とそれに伴う会議を100回以上にわたって開催した。最終目的は議会基本条例と政務活動費の請求にあるようだ。



## < コッコファーム > 6次産業の先進的企業

昭和44年創業者(現会長)が20歳の時、脱サラで400羽の養鶏を一人でスタート、現在8万羽の鶏を飼い、一日に6万個産卵する卵を、直接及び加工して販売、また鶏肉も直接及び加工品を販売している。来場者は平成25年101万人(カンブリア宮殿放映)、卵かけ醤油は一月に約3000本販売、従業員171名、年商27億円、「6次産業化優良事例表彰」、「全国高齢者雇用開発コンテスト」をはじめ国、民間など数々の賞を受賞している。

- 無農薬栽培観光バナナ園
- 直売所「ふれあい館」
- 「健食館」オムライスと親子丼専門レストラン
- 展望休憩所「展望庵」
- 一軒の農家の直売所「たまご庵」

コッコファームには上記の施設があり、開店前から産みだした新鮮な卵を求める客が列をつくる。卵は1個30円と市価より高い。独自の飼育技術と品質管理で生産し、自然の味にこだわる。かしわ飯など惣菜を製造する農産加工室は、60歳以上のリタイアした人たちの地域雇用の場となっている。そして、同社の成長を支えたのは、戦略ではなく「目的」である。目的とは、「温かい卵を直接お客様にお届けしたい」という経営理念に他ならないと感じた。



## < きくちふるさと水源交流館 >

都市に住む人々が農山村に滞在し、自然とのふれあいや地域の方々との交流を楽しむことを目的に、廃校となった水源中学校の校舎を増改築し、新たな交流施設として誕生した。魅力はなんといっても木造校舎の木の温もり、自然の中での遊びや体験を通して、農山村の豊かさを実感できそうな施設である。また「水源地区で農業を始めませんか」を合言葉に、平成19年より、農業を活性化するための新規就農者支援整備事業に取り組んでいる。

平成12年	菊池東中学校閉校により、地元で施設の活用方法を検討。
平成16年	校舎改修工事竣工総工事費 4168万円 (内補助金2080万円)
平成18年	宿泊棟、交流レクリエーション(体育館)新築など改修工事竣工費1億5751万円 (内補助金6950万円)
平成18年	指定管理制度によりNPO法人きらり水源村と締結
平成21年	指定管理再締結
	現在の指定管理料1592万円 (千円以下切捨)



# 委員長研修

平成26年7月24日(木)・25日(金)

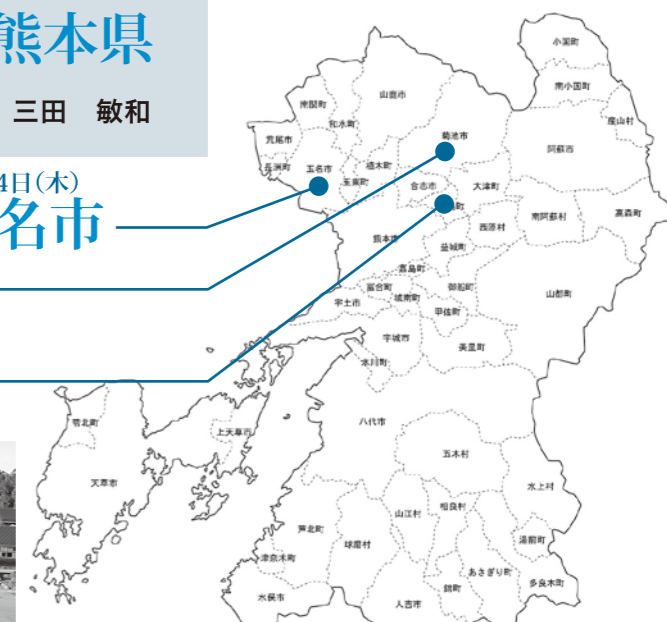
熊本県

三田 敏和

7月24日(木)  
玉名市

7月24日(木)  
菊陽町議会

7月25日(金)  
コッコファーム  
きくちふるさと水源交流館



## < 玉名市 >

玉名市は熊本県の北西部に位置し、平成17年10月3日、玉名地域1市3町(玉名市、岱明町、横島町、天水町)が合併、当時の人口は71,851名で現在68,777名、約3,000人減少している。産業は、米、みかん、いちごなどの農産物、ノリなどの水産物が盛んである。九州新幹線鹿児島ルート全線開通に伴い、福岡都市圏への交通機能の向上、県北の交通の拠点として、今後の発展が大いに期待される。

### 6次産業化※の取り組み

農業を取り巻く環境(高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加、所得の減少)は厳しく、地域資源に付加価値をつけ、地域加工品として磨き上げ、販路拡大に向けた取り組みを進めていくため、平成24年4月に6次産業推進室を設置した。単にJAに納めていた物に、付加価値を付けどう売るか、農家に経営者としての意識改革を図り、難しいところを行政として、どんな支援策が効果的かを考えサポートしたとのことだった。

### 企業誘致の取り組み

旧玉名市時代から30年近く企業誘致を組織的に取り組んでいる。工業団地、産業団地という用地をもたない中で企業誘致を展開している。

#### 企業誘致の効果

##### ◎財政における波及効果

企業、従業員の所得増加で、法人市民税、固定資産税、個人市民税の税収増。その他、波及効果として、消費支出の増、地元企業での原材料調達、産業的、社会的、文化的向上に繋がる。

#### 企業誘致活動の内容

##### ◎立地可能性のある企業を選定、訪問して企業誘致を進める

##### 誘致実績

①昭和40年代～昭和60年代	9社
②平成以降合併まで	7社
③合併(H17.10.3)以降	10社

- 1 玉名市6次産業推進補助金 (H25、ハード1億円、ソフト4千万円) 1事業あたり10万円～500万円以内 (補助対象経費の1/2以内)
- 2 玉名市6次産業推奨品 (H25～) 58商品を開発し、17商品、7事業者が推奨品認定。



(推奨シール)

#### ※6次産業化とは

農林業者(1次産業者)が農林水産物の生産だけでなく、2次産業の食品加工から3次産業の流通・販売までを主体的・総合的に関わりあうことで、高付加価値を図り、農林漁業者自身が所得を得ることで、農業を活性化させようとするもの。

**6次産業 = 1次産業 × 2次産業 × 3次産業**  
(農業者のための事業)(生産者が) (食品加工し) (流通・販売する)



平成24年度に行われた玉名市誘致企業等連絡会議の様子

工業団地や産業団地などのできる土地がなく、企業誘致が圧倒的に不利な中で、組織面でのこれまでの実績や財政面での支援措置を基本として、交通利便性や若者などの豊富な人材、恵まれた環境を前面に出しながら企業誘致に取り組んでいる。